

特集 『映像』という戦略

( \* 1 ) 『少林サッカー( 01年 )』... 香港映画。脚本・監督・主演：チャウ・シンチー氏。少林拳の達人がサッカーで活躍する物語。『少林少女』はその続編的な映画。

( \* 2 ) 本広克行監督(写真右)... 亀山プロデューサーとコンビでの『踊る大捜査線』シリーズで名を馳せた、日本を代表する映画監督。

( \* 3 ) 文中写真参照



平成19年春、映画『少林少女』が市内でロケを敢行。6月1日には、フジテレビの亀山千広さんが市長を訪問しました。

伊豆の国市が映像制作者に求めるもの、映像制作者が伊豆の国市に求めるものは、一体何なのでしょう。

同じ葦山高校出身の2人に語っていただきました。

亀山(敬称略) この度はいろいろご協力いただきありがとうございました。とうございりました。

とも話しました。本広監督とは、『踊る大捜査線』から一緒にコンビを組んでいて、前作の『UDON』が、彼の地元の香川で撮ったので、冗談で、「今度は僕が地元で撮ろう」という話をしました(笑)。そこへこの企画が立ち上がったので、僕が十八年間育ったこの界隈が富士山もよく見える、と提案すると、スタッフが(こちらに)見に来たんです。その際、FC伊豆の皆さんが非常に協力的だったので、「もうここに決めよう」と。そういう経緯で、『少林少女』のロケは伊豆の国市を中心に、静岡県全体でやらせていただくことになりました。

『少林少女』という作品 亀山 この『少林少女』は、三年ほど前、『少林サッカー』( \* 1 )という香港映画の監督と会ったときに意気投合して、企画が立ち上がりました。主演女優の柴咲コウさんも非常に興味を持ってくれて、一年半かけて体力づくりや格闘の訓練をしてくれました。香港と共同で企画をする中で、世界へとアジアのテイストを出していくのに、「富士山が見える場所がいい」ということを本広克行監督( \* 2 )

この映画は、エンターテイメントというか、話自体が現実から非常に突き抜けている。え、視聴率という数字でしか反応が分からない。本当に泣いてほしいシーンで泣いてくれているのか? 笑ってほしいシーンで笑ってくれているのか? そんな、お客さんの顔を見たことがない仕事を二十年近くやってきました。しかし、局内で「映画をやれ」と言われてやってきたときに、劇場に足を運ば、お客さんが自分の作品で、確かに笑ってくれて、泣いてくれている。または逆に、自分では納得してらんだけど、思いのほかお客さんの顔は曇って出て行く。なんていうのを目の当たりにすると、やはり、わざわざ家を出て、電車やバスを使って劇場まで見に来ていただいていた人に、その時間を無駄にしたらいたくないんです。だから、映画が終わった

話で、多少( CG等で )山を描き加えたりいろいろなことします。で、「あそこがああいう風に映るんだ」とか、市長がご覧になるとびっくりするんじゃないかと(笑)。

世界に向けて発信を 市長 今、海外でも、日本の映像産業は注目されているようです。 亀山 そうですね、実際に(海外へ)行ってみると難しいんですけどね。日本人が出て、日本語をしゃべる映画がどこまで世界で受け入れられるか...。でもそういった意味では、今回の『少林少女』は、仮に外国語になっても、動きとして面白い。で、そこに、何よりも富士山がバックにあることで、「内容は東洋であっても、ここは日本である」

というのを見せることができません。(富士山の見える)ここから、世界に向けて何かを発信していければ、と思っています。

たあとのお客さんの顔が笑顔だったり、満足そうな顔をしてもらっている作品ができれば、それが一番好きですね。そういう意味で僕たちも、皆さんと同じサービス業だと思っています(笑)。

得意なジャンル

市長 亀山さんの得意なジャンルの映画は何ですか?

亀山 高校時代は、結構難解な作品を見ては気取ってたクチなんです(笑)、テレビ局に入ってからそういう知ったかぶりは封印して、一番楽しめるものを。得意なジャンルというよりは、一人でも多くお客さんに楽しんでもらうのが一番だと思っんです。

ロケセットの価値は 亀山 『少林少女』でも小道具等いろいろ作りましたので、今後見ていただければ...。かつて、ドラマ『北の国から』で作った丸太小屋を、北海道の富良野市が今も大切に保存してくれているんです。ドラマは終わりましたが、そういうものがあることで、やっぱり郷愁が残るんですね。逆に言うと、僕らがそこまでになる作品に仕上げたいかなと、皆さんのご期待に応えられないと思いますので、これから先の仕上げも含めて、



( \* 3 ) ロケミュージアムには『少林少女』その他ロケの小道具や台本などを展示。入場無料

市長 そうですね。 亀山 もともと自分は映画の人間ではなく、テレビ局に入ってからドラマを作っていた人間ですが、テレビというのは、残念ながらお客さんの顔が見

たあとのお客さんの顔が笑顔だったり、満足そうな顔をしてもらっている作品ができれば、それが一番好きですね。そういう意味で僕たちも、皆さんと同じサービス業だと思っています(笑)。

『少林少女』をすばらしい作品にしないと。「もうあれ要らないな」と思われたら、僕らも寂しいですから。 市長 『道の駅・いずのへそ』のロケミュージアム( \* 3 )には、今まで使用したいろいろなロケセットを展示してありますが、皆さん結構興味を持って見えますよ。

担庵公を世に広く 市長 伊豆の国市が誕生して一番感じるの、私(高校



伊豆の国市長

望月 良和

もちづき よしかず

昭和16年、伊豆の国市大仁出身 県立葦山高等学校卒業 旧大仁町議会議員、旧大仁町長歴任後、平成17年4月から伊豆の国市長に就任



フジテレビ 執行役員常務 映画事業局長

亀山 千広

かめやま ちひろ

昭和31年、三島市出身 県立葦山高等学校卒業 フジテレビ映画事業局のトップとして、数多くの映画をプロデュース。代表作は『踊る大捜査線 THE MOVIE』など